学校番号	218

平成 31 年度　共生科

教科	学共生	科目	(学)社会福祉	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主作成プリントなど						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地域のさまざまな活動をしておられるボランティアの方々、および地域のさまざまな施設、またその利用者の方々、福祉行政の担当の方のお話、訪問・交流・実習体験を通じて様々な立場の人と暮らして行ける力を養いましょう。

2　学習の到達目標

社会を構成している様々な立場の人たちと、共に生きるためにどのように向き合えば良いのか、自分の考えをまとめられるようになる。そういう自分の考えから始めて、社会全体の動きを知り、社会における福祉のあり方を考えられるようになる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	社会を構成しているさまざまな立場の人たちの生活や社会における立場に関心を持ち、共に生きるための実践的な態度を身につけている。	社会を構成しているさまざまな立場の人たちに対してどのように向き合っていけば良いのか、また課題を見いだして、その解決を目指して思考を深め、適切に判断する能力を身につけている。	社会を構成しているさまざまな立場の人たちと共に生きるための基本的な技術を身につけている。	社会を構成しているさまざまな立場の人たちにたいする福祉に関する基本的な知識を身につけている。
評価方法	ワークショップへの積極的な参加や班別活動の役割など。取り組み状況の観察 プリント・レポート。	取り組み状況の観察 プリント・レポート。	点字・ガイドヘルプ手話・車イス体験など。取り組み状況の観察 プリント・レポートチェック。	調べ学習・発表準備発表内容・発表態度の総合評価。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元・教材名	指導内容	主な評価の観点				単元の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
4月 5月	自己理解 人間関係の円滑化	オリエンテーション 人間関係づくり ワークショップ	○				a:ワークショップなどへ積極的に参加しているか	取組状況観察
6月 7月 8月	障がい者について理解する	白杖体験、ガイドヘルプ、点字練習、聴・視覚障がい者の講演 手話学習	○	○	○		a:グループ内で協力して活動しているか b:気づきとその共有ができているか c:実習の内容が技術として身についたか	取組状況観察 プリント レポート
9月 10月	さまざまなボランティア活動を知る	車椅子体験、校内・学校周辺のバリアフリーチェック	○		○		a:積極的に参加しているか 講話をどの程度理解しているか c:実習の内容が技術として身についたか	取組状況観察 プリント レポート
11月	調べ学習・班協議発表	テーマに沿って情報収集し協議・発表準備を行う		○			b:他の教員にも参加してもらい評価してもらう	発表の内容・態度・方法などを総合的に評価
	老人について理解する	擬似的に老化現象を体験する 老人介助法 老人施設訪問	○	○			a:積極的に参加しているか。 b:気づきとその共有ができているか	取組状況観察 プリント レポート
12月 1月 2月	精神障がい・知的障がいについての理解	精神障がい者地域活動支援センター・障がい福祉サービス事業所訪問交流。	○	○		○	a:積極的に参加しているか、グループ内で協力して活動しているか b:気づきとその共有ができているか d:障がいの理解が的確にできたか	取組状況観察 プリント レポート
	地域ボランティア（里山環境保全）	竹林の間伐作業、竹材、間伐材の有効利用研究、地域清掃活動	○		○		a：環境保全活動に積極的に参加しているか、グループ内で協力して活動しているか c：実習の内容が技術として身についてか	取組状況観察 プリント レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解